コミュニケーションのための英文法

日本と英米で刊行された学習英文法書における，ショートアンサー，付加疑問，聞き返し疑問，未来表現の比較研究

A Note on English Grammar for Communication

A Comparative Study of English Grammar Books from U.K. or U.S. and those from Japan regarding “Short Answers,” “Tag Questions,” “Reply Questions,” and “Future Expressions”

横浜国立大学 大学教育総合センター
渡辺 雅仁

キーワード: 英文法　コミュニケーション　学習英文法
Keywords: English grammar, language communication, school grammar

Abstract

If language teachers wish to enhance learners' communicative activities, they should carefully select the materials being learned and decide the efficient ways of providing them for learners. Grammar is not an exception for this. However, the English grammar textbooks published in Japan are not so suitable to this. This will become more evident when we compare them with the grammar books from U.K. or U.S. Those from Japan often neglect the materials that are more highly valued for communication, and fail to have learners use the target language. Specifically, they have the following characteristics:

1. Meta-linguistic description is weighed much more than examples.
2. Single example sentences which do not constitute any context dominate the textbook.
3. Much fewer linguistic features of spoken language are incorporated than those of written language.

I'd like to propose several reformations in the learning and teaching of grammar in Japan so that language teachers can make English learning more communicative.

1. はじめに: コミュニケーションのための英文法とは何か

Basic Grammar in Use [1](以下 BGiU)には，"Short answers"という見出しで，次のような表がいくつかのユニットで紹介されています。

(1)　BGiU, short answers

[1] 2010年Raymond MurphyおよびWilliam R. Smalzer著Cambridge University Press刊, 第三版。アメリカ英語の学習英文法書。初級者対象。

Unit 2 および Unit 4

Short answers

Yes,	I	**am.**	No,	I'm	**not.**	*or*	No,	he she it	**isn't.**
	he she it	**is.**		he's she's it's				we you they	**aren't.**
	we you they	**are.**		we're you're they're					

© Cambridge University Press

Unit 7

Short answers

Yes,	I/we/you/they **do.**	No,	I/we/you/they **don't.**
	he/she/it **does.**		he/she/it **doesn't.**

© Cambridge University Press

Unit 10

Short answers

Yes,	I/he/she/it **was.**	No,	I/he/she/it **wasn't.**
	we/you/they **were.**		we/you/they **weren't.**

© Cambridge University Press

Unit 12

Short answers

Yes,	I/we/you/they he/she/it	**did.**	No,	I/we/you/they he/she/it	**didn't.**

© Cambridge University Press

それではここで質問です。

(2)　質問 1

(1)において，太字部分の主語以降の形はどのような原則によって決定されているでしょうか？例えば，Yes, I **am**. (Unit 2 および Unit 4) / Yes, they **do**. (Unit 7) / Yes, he **was**. (Unit 10) といった形の違いはどのように生じていますか？

質問にはさまざまな答え方が可能です。BGiU において，short answer について，「short answer とは…である」のような形での具体的な文法解説は一切ありません。 (1)のそれぞれの表の下に次のような例文が提示されています:

(3)　BGiU, short answers と例文

Unit 2

- "Are you tired?" "Yes, I am."
- "Are you hungry?" "No, I'm not, but I'm thirsty."
- "Is your friend Japanese?" "Yes, he is."
- "Are these your keys?" "Yes, they are."
- "That's my seat." "No, it isn't."

© Cambridge University Press

Unit 4

- "Are you leaving now?" "Yes, I am."
- "Is Paul working today?" "Yes, he is."
- "Is it raining?" "No, it isn't."
- "Are your friends staying at a hotel?" "No, they aren't. They're staying with me."

© Cambridge University Press

Unit 7

- "Do you play tennis?" "No, I don't."
- "Do your parents speak English?" "Yes, they do."
- "Does Gary work hard?" "Yes, he does."
- "Does your sister live in Vancouver?" "No, she doesn't."

© Cambridge University Press

Unit 10

- "Were you late?" "No, I wasn't."
- "Was Ted at work yesterday?" "Yes, he was."
- "Were Sue and Steve at the party?" "No, they weren't."

© Cambridge University Press

(3)の例文を 1 つずつ確認することで，(2)の質問に対する答えを次のようにまとめることができます:

(4)　解答 1

(1)の太字部分の主語以降の形はshort answerに先行する話し相手の文の形に依存して決まります。例えば, Yes, I **am**. については, Are you tired? (Unit 2)や Are you leaving now? (Unit 4), Yes, they **do**. については，Do your parents speak English? (Unit 7)，Yes, he **was**. については Was Ted at work yesterday? (Unit 10) のように，先行する話し相手の文の形に応じて，それぞれの short answer の形が決まります。

「ショートアンサー」について，大久保(2003)では次のように解説しています:

(5)　short answer の定義

与えられた質問に対して，必要最小限の情報のみを答えること。フル・センテンス(full sentence)で答える「ロング・アンサー(long answer)」の一部を省略したものである。[2]

(1)が示すように, ショートアンサーは疑問文に対する基本的な答え方です。例えば, Are you tired? という質問に対し，Yes, I am tired. というフルセンテンスではなく，Yes, I am. のように tired を繰り返

[2]大久保 (2003)では「ショート・アンサー」のように中点（・）を入れた表記を行っている。(p. 49)

さずに答えています。フルセンテンスによる答え方を実際の会話で行うと，冗長(redundant)な印象を与えます。[3]また，ショートアンサーは単なる「短い答え」ではありません。(3)の例文中の疑問文に，さらに短く，Yes.もしくは No. のように 1 語で答えることも可能です。しかし，このような短い答え方は，BGiU をはじめ通常の学習英文法ではショートアンサーとみなしていません。極めて親しい者同士の場合を除き，聞き手を尊重しない印象を与えるために，学習英文法から除かれているのでしょう。[4]まとめると，ショートアンサーとは「冗長でも，失礼でもない必要最小限の答え方」のように定義できます。このように，ショートアンサーの理解は，スムーズなコミュニケーション活動に欠かせません。

ここで次の 2 つのことを押さえておいてください:

(6)　ショートアンサーから見えること

i.　どのように答える場合でも，Yes, I **am**.　/ Yes, I **do**. / Yes, I **was**. のように，ピリオド 1 つで終了する 1 つの文だけを考えていたのではこの質問に答えることはできない。short answer という文法項目は相手とのコミュニケーションによって作られる文脈の中で捉えられなければならない。

ii.　short answer は中学校初年度の学習事項であるにも関わらず，いまだに明確な日本語による訳語が与えられていない。一般には「ショートアンサー」のように言及される。「短縮形」のよう言及されることもあるが[5]，定着していない。[6]

また，BGiU では be 動詞を用いた構文について次のような表によって解説されています:

(7)　BGiU, Unit 1, be 動詞構文の肯定と否定

Positive		
I	am	(I'm)
he she it	is	(he's) (she's) (it's)
we you they	are	(we're) (you're) (they're)

Negative				
I	am not	(I'm not)		
he she it	is not	(he's not (she's not (it's not	*or* *or* *or*	he isn't) she isn't) it isn't)
we you they	are not	(we're not (you're not (they're not	*or* *or* *or*	we aren't) you aren't) they aren't)

© Cambridge University Press

この表では, 主語に応じてどのように be 動詞が変化するかを肯定と否定の状況で対比させています。主語 I の後ろでは，肯定文では am，否定文では am not （もしくは'm not）となることは，ピリオド 1 つで終了する文の中で捉えることができます。

---

[3]大久保 (2003)「ロング・アンサー」の項より。(p. 99)

[4] English Grammar Online, short answers の項より。
http://www.ego4u.com/en/cram-up/grammar/short-answers (2011/08/20 アクセス)

[5] Murphy & Smalzer (2002)の日本語バイリンガル版,「マーフィーのケンブリッジ英文法（初級編）」における用語。

[6] 定着していない 1 つの理由は, ショートアンサーが話しことばの文法事項であることが指摘できる。「4. 聞き返し疑問」の項を参照のこと。

ことばを使う主な目的として，話し手と，話し手の周囲の人との間のコミュニケーションがあります。コミュニケーションは，参加する複数の人の間にことばの往来が存在して初めて成立します。したがって，コミュニケーションは，ピリオド 1 つで終了する文ではなく，複数の文を含んだ文脈の中で考察しなければなりません。(3)のショートアンサーと(7)の be 動詞構文を比較すると，先行する文脈に依存せずに形が決まる be 動詞構文は，ショートアンサーほどは，コミュニケーション性を持たない文法項目であると考えられます。

しかし，(7)であっても，代名詞が登場するために，それぞれの代名詞で示される人が具体的に誰であるかを示す文脈が普通，必要になります。BGiU では(7)の表に関連して，大半が複数の文が文脈を形成するように例文が与えられています。

(8)　BGiU, Unit 1，例文

- Tom **isn't** interested in politics. He's interested in music.
- Jane **isn't** a teacher. She's a student.
- Those people **aren't** Canadian. They're Australian.

© Cambridge University Press

次に，定冠詞 the の使い方について見て行きましょう。この項目は日本人学習者にとって最も習得が難しい項目の 1 つです。Murphy & Smalzer (2010)中には以下のような解説があります:

(9)　BGiU, Unit 74，場所の名前と the

Places in towns (streets, buildings, etc.)

In general we do *not* use **the** with names of streets, squares, etc.:

- Kevin lives on **Central Avenue**.
- Where is **Main Street**, please?
- **Times Square** is in New York.

We do not use **the** with names of airports, stations, universities, and parks.

O'Hare International Airport	**Harvard University**
Pennsylvania Station	**Yosemite** (National Park)

But we use **the** with names of most hotels, museums, theaters, and monuments:

the Regent Hotel	**the** National Theater
the Metropolitan (Museum)	**the** Odeon (movie theater)
the Taj Mahal	**the** Lincoln Memorial

© Cambridge University Press

ここでは，同じように場所を表す固有名詞であっても，通り，交差点，空港，駅，大学，公園の名前には the が付かず，大半のホテル，美術館，劇場，記念館の名前には the が付くことが解説されています。通り，交差点の名前に関する例は文の形で表されているものの，それ以外の例は，文ではなく名詞句の形で与えられています。このように，(9)の文法事項の理解に際し，文脈は何ら影響を及ぼしません。

これまで，(3)ショートアンサー，(7)be 動詞の形，(9)場所の名前と the，という 3 つの文法事項を概観しましたが，この順でコミュニケーション性が少なくなっています。ところが，これまでの日本における，学習英文法では，この違いに関わりなく，文法事項が取り上げられてきました。そればかりか，文法事項を文脈から切り離して解説することが主流となっています。日本で刊行されている学習文法書

の多くが，ピリオド１つで終了する例文を用いた文法解説が大半を占め，ショートアンサーにも十分な解説を与えていないことがこのことを象徴的に表しています。

本稿ではコミュニケーション性の高い文法事項を適切に選択し，文脈をより重視して文法事項を解説しようとする学習英文法を「コミュニケーションのための英文法」として言及します。海外と日本国内で刊行されている学習英文法書を比較すると，海外のものの方がよりコミュニケーション性を重視していることがわかります。本稿では，両者の比較を通じて，文脈を重視した文法記述がもたらす具体的な帰結についてまとめます。また，本稿は，中学校や高等学校の教員や英語学習者にも，要点がより分かりやすくなるよう，Q & A 形式で作成されています。このため，通常の学術論文とは，スタイル上，趣が異なることをご了承ください。

2. ショートアンサー

海外で刊行された学習英文法書の中で，ショートアンサーについてことに注目すべき記述を行っているのが，*Grammar Express-Intermediate*[7]（以下 Grammar Express)です。

Grammar Express はそれぞれのユニットで，以下のような文型表を用いて，基本文型の解説が行われています。表に示された要素の語順の比較により，統語上の操作が理解できます。YES/NO 疑問文が提示されると必ず対応してショートアンサーの形も示されています。

(10)　Grammar Express, Unit 7，文型表

SIMPLE PAST TENSE: QUESTIONS

YES/NO QUESTIONS: BE		
BE	SUBJECT	
Was	she	here last year?
Were	they	

SHORT ANSWERS					
AFFIRMATIVE			NEGATIVE		
Yes,	she	was.	No,	she	wasn't.
	they	were.		they	weren't.

WH- QUESTIONS: BE			
WH- WORD	BE	SUBJECT	
Why	was	she	here last year?
	were	they	

YES/NO QUESTIONS: OTHER VERBS			
DID	SUBJECT	BASE FORM	
Did	she	fly	to Mexico?

SHORT ANSWERS	
AFFIRMATIVE	NEGATIVE
Yes, she did.	No, she didn't.

WH- QUESTIONS: OTHER VERBS			
WH- WORD	DID	SUBJECT	BASE FORM
Why	did	it	disappear?

© Pearson Longman

ショートアンサーの大半は(10)にあるように，日本人の英語学習者が普通に理解できる形が示されています。しかし，助動詞表現に関連したいくつかのユニットで，興味深いショートアンサーの記述が行

[7] 2001 年，Marjorie Fuchs および Margaret Bonner 著，Pearson Longman 刊。中級者対象。

われています。

Grammar Express の Unit 37 は Assumptions: *May, Might, Could, Must, Have (got) to, Can't* というタイトルで，現在の状況について，「…だろう」，「…ちがいない」，「…ではないだろう」，「…ではあり得ない」のようにさまざまに仮定(assumption)する助動詞表現を解説しています。このように複数の助動詞表現をまとめると，それぞれの用法の違いについて学習できます。Grammar Express は，この違いを，以下のように仮定についての確信の度合いの違いとして説明しています。

(11)　Grammar Express, Unit 37 文法解説

1. We often make **assumptions**, or "best guesses," based on information we have about a present situation. The modal that we choose depends on how certain we are about our assumption.

100% certain

AFFIRMATIVE	NEGATIVE
must	can't, couldn't
have (got) to	must not
may	may not
might, could	might not

0% certain

© Pearson Longman

この「仮定」の意味で用いられる助動詞には，次のような文型解説が与えられています。

(12)　Grammar Express, Unit 37 文型解説[8]

i. STATEMENTS

SUBJECT	MODAL	BASE FORM OF VERB	
I/He/She/It/We/You/They	may (not) might (not) could (not) must (not) can't	be	right.
		work	there.

ii. AFFIRMATIVE STATEMENTS: *HAVE (GOT) TO*

SUBJECT	*HAVE (GOT) TO*	BASE FORM	
I/We/You/They	have (got) to	be	right.
He/She/It	has (got) to	work	there.

iii. *YES/NO* QUESTIONS

COULD	SUBJECT	BASE FORM	
Could	he	work	there?

NOTE: For contractions with *could not* and *cannot*, see Appendix 24 on page 346.

SHORT ANSWERS

SUBJECT	MODAL/ *HAVE (GOT) TO*
He	must (not). may (not). might (not). could(n't). can't. has (got) to.

© Pearson Longman

この表からどのようなことが指摘できますか？以下の質問に答えてください。

[8] 表中の i, ii, iii の番号は渡辺によるもの。

(13)　質問 3

i.　STATEMENTS の表中に現れる項目からどのようなことがわかりますか？

ii.　AFFIRMATIVE STATEMENTS: HAVE (GOT) TO の表中に現れる項目からどのようなことがわかりますか？

iii.　YES/NO QUESTIONS と SHORT ANSWERS の表中に現れる項目を比較するとどのようなことがわかりますか？

この問いへの答えは，以下のようにまとめられます。

(14)　解答 3

i.　否定形 can't に対応した肯定形 can がない。

ii.　肯定形 have (got) to / has (got) to に対応した否定形 don't have (got) to / doesn't have (got) to がない。

iii.　YES/NO QUESTIONS 中に生じる助動詞は could のみだが, SHORT ANSWERS 中には, must (not), may (not), might (not), could(n't), can't, has (got) to のような多様な助動詞が生じている。

(14) iii が具体的に意味することを must を例に考えてみましょう。ここでの must は「…に違いない」のような意味を持ちます。He must be right. は「彼は正しいに違いない」の意味となります。日本語では「彼は正しいに違いありませんか？, 彼は間違いなく正しいですか？」のような疑問文も可能です。また，Must he work on Sundays? （彼は日曜でも働かなくてはならないのですか？）のように「…しなければならない」の意味では疑問文も存在します。しかし， Must he be right?のような疑問文は，実際には使われません。

一般に，肯定形と否定形，肯定形と疑問形のような文型上の対立は，not を置いたり，助動詞を主語の前に置いたりする統語的な操作によって作られます。しかし，(14)は統語的な操作からは成立しそうな文型が実際には使われないことがあることを示しています。[9]

英語らしい表現を身に付ける際には，単純な統語的な操作ばかりではなく，実際に母国語話者がその形を使っているのか, 実証的な検証が必要となることを(12)のショートアンサーの事例は示しています。

Grammar Express の Unit 29 は Requests: *Will, Can, Would, Could, Would you mind …?* というタイトルで，要求を行う助動詞表現を複数まとめて解説しています。(15)はこのユニットの文型表です。

(15)　Grammar Express, Unit 29, 文型表

[9] このような形式上の脱落は言語上の「空白」(gap)と呼ばれる。「空白」には，言語の体系上，不可能であるために存在しない「体系上の空白」(systematic gap)と，体系上問題ないものの，偶然生じていない「偶然の空白」(accidental gap)の 2 種類がある。本節における助動詞の例は，「体系上の空白」に属するものと思われるが，この点の詳細な検証については，本稿の範囲外とする。

QUESTIONS: *WILL/CAN/WOULD/COULD*			
*WILL/CAN/ WOULD/COULD**	SUBJECT	BASE FORM OF VERB	
Will **Can** **Would** **Could**	you	**mail**	this for me?

*These words are modals. They do not have *-s* in the third person singular

SHORT ANSWERS		
AFFIRMATIVE		NEGATIVE
Sure Certainly	(I **will**). (I **can**).	I'm sorry, but I **can't**.

QUESTIONS: *WOULD YOU MIND . . . ?*		
WOULD YOU MIND	GERUND	
Would you mind	**mailing**	this for me?

SHORT ANSWERS	
AFFIRMATIVE	NEGATIVE
No, not at all. I'd be glad to.	I'm sorry, but I **can't**.

© Pearson Longman

それではここで質問です。

(16)　質問 2

(16)の表中の QUESTIONS と対応する SHORT ANSWERS を比較するとどのようなことがわかりますか？

この問いへの答えは，以下のようにまとめられます。

(17)　解答 2: Unit 29 文型表まとめ[10]

i.　Will, Can, Would, Could …?の疑問文を用いて要求した場合, 肯定のショートアンサーは Sure (I will / I can). もしくは Certainly (I will / I can).となり，否定のショートアンサーは I'm sorry, but I can't. となる。

ii.　疑問文では will, can, would, could の 4 種類の助動詞が可能だが，ショートアンサー中では, would, could は生じてない。ショートアンサー中で使用できる助動詞は，問いかける疑問文から機械的に決定できるものではない。

iii.　Would you mind … ?の場合には，ショートアンサーは肯定で，No, not at all. もしくは I'd be glad to. 否定では，I'm sorry, but I can't. となる。

[10] i から iv の 4 項目に加えて，「要求を表す助動詞表現は疑問文でのみ表され，肯定文や否定文では表されない」ということも(16)に関連して指摘しておきたい。この点は QUESTIONS と SHORT ANSWERS の比較から導かれないために，(17)からは省略した。

iv.　(10)に見られたような yes や no で始まる単純な形はショートアンサーとして示されていない。

この文型表に対応して以下のような文法解説が行われています。

(18)　Grammar Express, Unit 29 文法解説

4. People usually expect us to say ***yes*** to polite requests. When we **cannot say *yes***, we usually apologize and give a reason.	**A: Could** you take this to Susan Lane's office for me? **B: *I'm sorry, I can't.*** I'm expecting an important phone call.
▶ **Be careful!** Do not use ***would*** or ***could*** to answer polite requests.	**A:** I'm cold. **Would** you shut the window, please? **B: *Certainly.*** Not ~~Yes, I would~~.

© Pearson Longman

(10)の yes/no 疑問文は，相手が yes なのか no なのかがよく分からず，この点を明らかにするために発せられます。一方，(15)の構文は，(18)の「丁寧に要求した場合には，相手から yes の答えを期待しているので，断る場合には，謝罪して理由を述べる」という解説から明らかなように，そもそも，相手に yes か no かのいずれの回答かを求めていません。文型上は疑問文ですが，「…してください」のような肯定の要求をしています。このために，(10)の yes/no 疑問文とは異なる答え方をしなければなりません。

それぞれの構文には文字通りの意味があります。この意味は，個々の単語を足し算するように積み重ねていけばほぼ得ることができます。しかし，実際には，(18)の「要求」のように，足し算することでは得られない意味を持つことがあります。構文が現実の場で使われる際に持つ意味は「機能」と呼ばれます。ことばの機能も，先に見た，仮定に関する助動詞表現と同様に，母国語話者の実際の発話に即した実証的な検証が必要になります。

和泉(2009)は，言語習得の 3 要素として，言語形式，意味内容，言語機能の 3 つを設定し，この 3 つをバランスよく結びつける能力こそ「コミュニケーション能力」である，としています。[11]日本における学習英文法では，中でも「機能」についての配慮が不足しがちでした。「コミュニケーションのための英文法」とは「機能」に配慮した英文法である，とも言えます。

3.　付加疑問

ショートアンサーに似た文法事項に付加疑問があります。(19)は *Grammar in Use Intermediate* [12](以下 GiU) における付加疑問の解説です。(19)において，文中のカンマ（,）の右側，文末に置かれた太字要素が付加疑問です。won't / wasn't / shouldn't / will she / do they / have you といった付加疑問の形は，先行する文がどのような形を持つかによって変化します。付加疑問だけを見ていては判断できません。

---

[11] pp. 137-138

[12] 2009 年 Raymond Murphy および William R. Smalzer 著 Cambridge University Press 刊，第三版。アメリカ英語の学習英文法書。中級者対象。

(19)　GiU, Unit 50, 付加疑問の形

Normally we use a *negative* question tag after a *positive* sentence:

Positive Sentence + Negative Tag	
Maria **will** be here soon,	**won't she?**
There **was** a lot of traffic,	**wasn't there?**
Jim **should** take his medicine,	**shouldn't he?**

. . . and a *positive* question tag after a *negative* sentence:

Negative Sentence + Positive Tag	
Kate **won't** be late,	**will she?**
They **don't** like us,	**do they?**
You **haven't** paid the gas bill,	**have you?**

© Cambridge University Press

(19)では，先行する文が肯定文では否定の，否定文では肯定の付加疑問が生じることが解説されています。引き続き，付加疑問に与えられる音調に関連して以下のような解説があります。

(20)　GiU, Unit 50, 付加疑問の意味[13]

The meaning of a tag depends on how you say it. If your voice goes *down*, you are not really asking a question; you are inviting the listener to agree with you:

i.
- "It's a nice day, **isn't it?**"　"Yes, beautiful."
- "Eric doesn't look too good today, **does he?**"　"No, he looks very tired."
- She's very funny. She has a wonderful sense of humor, **doesn't she?**

But if the voice goes *up*, it is a real question:

ii.
- "You haven't seen Lisa today, **have you?**"　"No, I haven't."
  (= Have you seen Lisa today by any chance?)

You can use a *negative sentence* + *positive tag* to ask for things or information or to ask somebody to do something. The voice goes *up* at the end of the tag in sentences like these:

iii.
- "You wouldn't have a pen, **would you?**"　"Yes, here you are."
- "You couldn't lend me some money, **could you?**"　"It depends how much."
- "You don't know where Lauren is, **do you?**"　"Sorry, I have no idea."

© Cambridge University Press

それではここで質問です。

(21)　質問 4

(20)の意味解説より，付加疑問にはどのような機能がありますか？音調の違いとともに説明してください。

(20)の解説は，2 人の会話となっています。付加疑問を含む文のみならず，どのように答えているかが機能を考える際には重要です。以下，i, ii, iii の番号は(20)の例文のまとまりに与えられたものに対応しています。

(22)　解答 4

i.　付加疑問に下降調の音調が与えられる場合，yes/no のいずれかの答えを聞き手に求めていません。付加疑問の左側の内容（例: It's a nice day / Eric doesn't look too good / She has a wonderful sense of humor）について，聞き手が当然賛成してくれるものとして，同意を求めています。聞き手の答えは，いずれも話し手が予測したものとなっています。

ii.　上昇調の音調が与えられる場合，聞き手から yes/no のいずれかの答えを得ようと質問してい

[13] 表中の i, ii, iii の番号は渡辺によるもの。

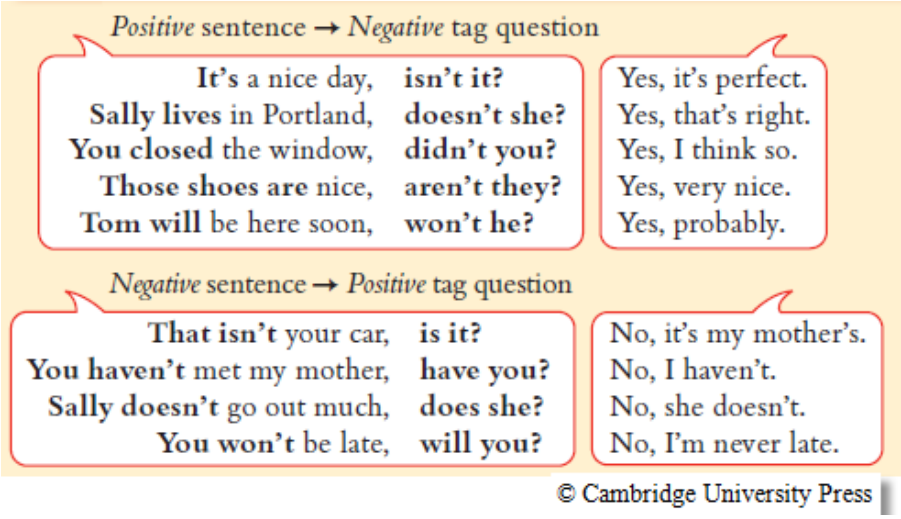
ます。付加疑問を持たない通常の疑問文に書き換えられます。

iii.　肯定の付加疑問に上昇調が与えられる時，聞き手に対して物や情報を自分に与えたり，聞き手に自分のために何らかの行動を行ったりするよう，依頼します。聞き手の答えは，Yes, here you are. / It depends how much. / Sorry, I have no idea. のように，(3)のような単純なショートアンサーにはなっていません。

付加疑問は文型としては 1 つですが，与えられる音調とともに，同意，質問，依頼，のような 3 つの機能を持っています。

(19)，(20)は付加疑問に関する GiU の解説です。GiU は中級の学習者を対象としていますが，より基礎的な学習者を対象とした BGiU ではこの項目について以下のように解説されています。

(23)　BGiU, Unit 42, 付加疑問



この解説では，付加疑問を含む文に対する聞き手の答えに注目してください。付加疑問文の左側の内容について，肯定であればすべて yes，否定であればすべて no で答えています。つまり，BGiU の(23)は，GiU の(22)の i の用法（同意）について解説していることになります。BGiU には(23)のみが，付加疑問の解説として記載されています。BGiU が初級学習者を対象として，GiU の項目をより基本的なものに絞り込んでいることを考えると，付加疑問が持つ「同意」の機能は，他の 2 つの機能よりも，より基本的なもの，ということになります。

コミュニケーションのための英文法では，対話が行われる文脈に生じる音調と結びついた機能についての理解が求められます。

4. 聞き返し疑問

付加疑問によく似た形を持ち，上昇調で相手のことばを部分的に繰り返し，「それで？，本当？」のように，関心を持っていたり，驚いていたりすることを表し，相手からさらに発言を導こうとする疑問形を「聞き返し疑問」と呼びます。

(24)　BGiU, Unit 42, 聞き返し疑問[14]

You can say **you have? / it is? / he can't?**, etc. to show that you are interested or surprised:

- "**You're** late."　"**I am?** I'm sorry."
- "**I was** sick last week."　"**You were?** I didn't know that."
- "**It's** raining again."　"**It is?** It was sunny 10 minutes ago."
- "**There's** a letter for you."　"**There is?** Where is it?"
- "**Bill can't** drive."　"**He can't?** I didn't know that."
- "**I'm not** hungry."　"**You aren't?** I am."
- "**Sue isn't** at work today."　"**She isn't?** Is she sick?"

Use **do/does** for the *simple present* and **did** for the *simple past*:

- "**I speak** four languages."　"**You do?** Which ones?"
- "**Tim doesn't** eat meat."　"**He doesn't?** Does he eat fish?"
- "**Nicole got** married last week."　"**She did?** Really?"

© Cambridge University Press

ここで質問です。

(25)　質問 5

付加疑問と聞き返し疑問の類似点と相違点をまとめるとどのようになるでしょうか？
答えは以下のようにまとめられます。

(26)　解答 5

i.　類似点

- 先行する文脈が形を決める。
- 主語と 1 つの動詞要素で構成され, 同じことばをなるべく繰り返さないように語句の省略が行われている。
- 話しことばにおける文法項目である。

ii.　相違点

	付加疑問	聞き返し疑問
先行する文脈	自分の発話	相手の発話
語順	「動詞―主語」：疑問文に近い	「主語―動詞」：平叙文に近い
音調	下降調および上昇調	上昇調
機能	同意，質問，要求	相手の発話への興味を示す

文法事項の解説から少し離れますが，「聞き返し疑問(reply question)」の学習英文法上における認知度について考えてみましょう。聞き返し疑問は BGiU および，BGiU 製作の元になった，*Essential Grammar in Use* [15] (以下 Essential)における用語です。Raymond Murphy が著作者として関連する，GiU および，GiU 製作の元になった，*English Grammar in Use*[16] (以下 EGiU) には登場しません。その他主だった学習英文法書にも記述がみられ

[14] 「聞き返し疑問」は BGiU，p. 311，索引中に reply question として登場する文法用語。Unit 42 中には登場しない。「聞き返し疑問」という訳語は渡辺によるもの。「応答疑問」のような訳語も見られる。http://www5d.biglobe.ne.jp/~chick/egu/101-120/egu115.html#1 (2011/08/25 アクセス)

[15] 2007 年，Raymond Murphy 著，Cambridge University Press 刊，第三版。イギリス英語の学習英文法書。初級者対象。

[16] 2004 年，Raymond Murphy 著，Cambridge University Press 刊，第三版。イギリス英語の学習英文法書。中級者対象。

ません。

Essential 中に聞き返し疑問文の記述がありますが, その形は BGiU とは異なるものになっています。

(27)　Essential, Unit 41, 聞き返し疑問[17]

You can say **have you? / is it? / can't he?** etc. to show that you are interested or surprised:

- ☐ **'You're** late.'　'Oh, **am I?** I'm sorry.'
- ☐ **'I was** ill last week.'　**'Were you?** I didn't know that.'
- ☐ **'It's** raining again.'　**'Is it?** It was sunny ten minutes ago.'
- ☐ **'There's** a letter for you.'　**'Is there?** Where is it?'
- ☐ **'Bill can't** drive.'　**'Can't he?** I didn't know that.'
- ☐ **'I'm not** hungry.'　**'Aren't you?** I am.'
- ☐ **'Sue isn't** at work today.'　**'Isn't she?** Is she ill?'

Use **do/does** for the *present simple*, and **did** for the *past simple:*

- ☐ **'I speak** four languages.'　**'Do you?** Which ones?'
- ☐ **'Tim doesn't** eat meat.'　**'Doesn't he?** Does he eat fish?'
- ☐ **'Nicole got** married last week.'　**'Did she?** Really?'

© Cambridge University Press

Essential はイギリス英語について解説したものです。イギリス英語において聞き返し疑問は不可疑問と同じ「動詞―主語」の語順になっています。知人のアメリカ英語を母語とする英語教師数人に(27)の形について尋ねました。「なじみがあり，(24)と同様に使われる形である」のような回答を得ることができました。

Cambridge Grammar of English[18]（以下，CGE）は，追従疑問(follow-up questions)[19] として話しことば中に用いられる，相手のことばを受けて発する以下のような疑問形を紹介しています。

(28)　CGE, セクション 100, 追従疑問(follow-up questions)

i.　wh 語を用いた略式の疑問(reduced questions with *wh*-words)

A: Margaret wants to talk to you.

B: Oh, **what about**?

[レストランにて。A: 客，B: ウェイター]

A: I'll have that one.

B: **Which one**?

A: The king prawn in lemon sauce.

ii.　付加疑問(tag questions)

A: I went to school with her.

B: **Did you**?

---

[17] 「聞き返し疑問文」は BGiU，p. 311，索引中に reply question として登場する文法用語。Unit 42 中にこの用語は登場しない。

[18] 2006 年，Ronald Carter および Michael McCarthy 著，Cambridge University Press 刊。総合的な英文法書。

[19] セクション 100, pp. 199-201。「追従疑問」の訳語は渡辺による。

A: And on mama's tree she's got some raspberries and tomatoes.

B: **Does she**? That's great.

[会社の買収を話題にして]

A: And they've take over Walker's too.

B: Oh **they haven't**↘, **have they**?↗

[ケーキが家の中ですぐになくなってしまうことを話題にして]

A: Have you noticed it always disappears?

B: **Yeah, it does, doesn't it**?

A: I've got two now, **yes**, **it does always disappear, doesn't it**?

B: **Yeah**.

iii. 定型疑問(formulaic questions)[20]

A: I finished loads of odds and ends.

B: Did you? **Like what**?

A: Like, my programs. Finished that off.

「ii. 付加疑問」として取り上げられている項目の中で，Did you?と Does she? が，GiU の「聞き返し疑問」(27)に対応しています[21]。i.～iii.の追従疑問はいずれも話しことばにおいて生じていますが，中でも Did you?と Does she?のような形について，「くだけた話しことばに生じる」と解説されています。[22]

学習英文法はどちらかと言えば，書きことばを中心に展開してきました。聞き返し疑問は CGE で解説されているように，話しことばの知見に基づく，比較的新しい文法項目であるために，全般的に文法項目としての認知度が低く，その定義も定まっていません。おそらく，Murphy が Essential と BGiU において，初めて学習英文法書中に記述したものなのでしょう。

しかし，聞き返し疑問を含む，(28)のような追従疑問は，先行する聞き手の発言を元に作られ，聞き手にさらなる発言を要求する機能を持つ，極めてコミュニケーション性の高い文法項目です。日本人学習者に会話をさせると，往々にして，短い 1 文で発言が終わってしまいます。例えば，"I went to Tokyo Disney Land last Sunday?"に対して，"Oh, did you? Was it fun?" のように応答すれば，自然に会話が促進されます。また，教員が学習者の発言について，あいまいであったり文法的に正しくなかったりした際に，学習者へのフィードバックとして，より明確に答えることを要求（明確化要求: clarification request）する際にも有効な手段となります。

聞き返し疑問は，現在の学習英文法における，コミュニケーションに有益な話しことばの文法解説や

[20] wh 疑問の中で極めて日常的に用いられるため，固定した疑問表現として定着したもの。How are you? / What's up? / How come? などがあり，状況によって変化しない。

[21] CGE 中の「ii. 付加疑問」には GiU の「聞き返し疑問」に加えて，通常の付加疑問も含められている。

[22] セクション 100, p. 200

活動の重要性を示唆しています。Essential および BGiU はこのような話しことばの文法事項を積極的に記述しようとしている点で先進的な取り組みであると言えます。コミュニケーションのための英文法では，これまでになく大胆に話しことばの特徴の分析が求められます。

5. 未来表現

動詞には現在形と過去形があり，それぞれ現在時，過去時に関連した意味を作ります。動詞には，これら 2 つの形と対応するような「未来形」はありません。したがって，未来の意味はさまざまな助動詞や現在形の動詞を用いて作ります。こうして作られた未来の意味を持つ動詞の形は「未来表現」と呼ばれます。

一般に，未来表現には次の 4 つの基本的な形があります。GiU から形に対応する例文を抜き出してまとめると次のようになります。

(29)　未来表現の形

i.　will[23]

a. Oh, I left the door open. **I'll go** and shut it.

b. That plate is hot. If you touch it, you**'ll burn** yourself.

ii.　be going to[24]

a. A: **Are** you **going to watch** the football game on TV tonight?
B: No, I**'m going to go** to bed early. I'm tired from my trip.

b. Look at those dark clouds! It**'s going to rain**.

iii.　現在進行形[25]

A: What time **is** Cathy **arriving** tomorrow?
B: At 10:30. I**'m meeting** her at the airport.

iv.　単純現在形[26]

My flight **leaves** at 11:30, so I need to get to the airport by 10:00.

海外で刊行されている学習英文法書では，(29)の 4 つの形と関連する用法について，GiU とほぼ同様な解説が行われています。一方，日本国内で刊行されている学習英文法書では，未来表現として，will と be going to の 2 つについては取り上げているものの，現在進行形と単純現在形による未来表現については十分に解説されていません。例えば，総合英語 Forest 6th edition [27]（以下，Forest）では，第 3 章「動詞と時制」の「Part 2」中の「2 未来を表す表現」において will と be going to がまず解説され，発展的な学習項目として，「Part 3」中の「3 未来を表すさまざまな表現」において，現在進行形と単純現在形を用いた未来表現が小規模に解説されています。

未来表現に関する扱われ方はこのように海外と日本では大きく異なります。その 1 つの理由は，未来

[23] a の例文は Unit 20，b の例文は Unit 21 より。
[24] いずれも Unit 19 より。
[25] Unit 18 より。
[26] Unit 18 より。
[27] 2009 年，石黒昭博監修，桐原書店刊，第六版。高校生を対象した学習英文法書として定評がある。

表現がどちらかと言えば，話しことばに属する文法事項であることが指摘できます。中学校や高校における英語コミュニケーション活動は確かに拡大していますが，依然として教科書に依存した，書きことば中心の英語学習の中では，現在進行形と単純現在形による未来表現の活動にまでは至らず，この部分が，言わば，抜け落ちてしまうのです。

will と be going to に関する記述も，海外と日本では大きく異なります。以下は，Forest 中の will の解説です。

(30)　Forest, 2 未来を表す表現，will を使って未来を表す[28]

3 未来を表す表現

英語の動詞の基本形は，現在形と過去形の 2 つである。未来は，「まだ存在しないあやふやな状況」なので，話し手の確信の度合などに応じたさまざまな表現がある。

1 will を使って未来を表す

TARGET ➡ 033

(1) My brother **will be** twenty next year.
(2) I **will give** you my answer tomorrow.
(1) 私の兄は来年 20 歳になります。
(2) 明日返事をします。

■ 単純未来
なりゆきで起こるであろうこと

will を使って未来を表す場合は，〈**will ＋動詞の原形**〉の形にする。(1) の will be は，**話し手や主語の意志とは関係なく，自然のなりゆきで起こるであろうこと**を表す。このような表現を**単純未来**と呼ぶ。

It **will rain** tomorrow.（明日は雨になるだろう。）

■ 意志未来
主語の意志

〈will ＋動詞の原形〉には，(2) のように，**主語の意志を表す意志未来**と呼ばれる用法もある（➡ p.125）。

© 桐原書店

日本における学習英文法では，(30)のように，未来表現について，「…するつもり」を「意志未来」，「…だろう」を「単純未来」のように，意味から 2 種類に分類して解説します。例えば，(29)中の例文は以下のように分類できます。

(31)　意志未来と単純未来

	意志未来	単純未来
will	i. a.	i. b.
be going to	ii. a.	ii. b.

GiU では，文法用語として直接「意志未来」や「単純未来」に相当するものは登場しませんが，Unit 20 では「意志未来」に，Unit 21 では「単純未来」に，それぞれ対応する例文とともに未来表現が解説

[28] pp. 70-71

されています。

まず，「意志未来」の用法を見てみましょう。

(32)　GiU, Unit 20, Will 1, セクション A

We use **I'll** (= **I will**) when we decide to do something at the time of speaking:

- Oh, I left the door open. **I'll go** and shut it.
- "What would you like to drink?" "**I'll have** some orange juice, please."
- "Did you call Julie?" "Oh no, I forgot. **I'll call** her now."

You cannot use the *simple present* (**I do** / **I go**, etc.) in these sentences:

- **I'll go** and shut the door. (*not* I go and shut)

We often use **I think I'll . . .** and **I don't think I'll . . .** :

- I am a little hungry. **I think I'll have** something to eat.
- **I don't think I'll go** out tonight. I'm too tired. (*not* I think I won't go out . . .)

In spoken English, the negative of **will** is usually **won't** (= **will not**):

- I can see you're busy, so **I won't stay** long.

© Cambridge University Press

ここで質問です。

(33)　質問 6

「意志未来」についてのみ焦点を当てた場合，(30)の Forest と(32)の GiU では解説上どのような違いがありますか？意味と形の両面から解説の違いをまとめてください。

答えは以下のようにまとめられます。

(34)　解答 6

	Forest	GiU
意味	主語の意志を表す意志未来	話している瞬間に「…しよう」と何かをすることを決心する
形	● will + 動詞の原形	● 文の主語はいずれも I で，I will や I won't のように主語も含めて形を提示している。
		● I think もしくは I don't think を主節に持つ文の従属節内によく生じる
		● 話ことばの英語では will not ではなく won't という形が用いられる。

単語と単語のよくつかわれる自然な組み合わせをコロケーション（collocation，連語）と言います。GiU では助動詞の意味のみならず，collocation について記述されています。コロケーションの学習は自然な英語の発話につながり，発話のコミュニケーション性を高めます。

will は確かに「…しよう」という意味未来の意味を持っていますが，「話している瞬間に決心する」という，いつ意志を決定したかが重要になります。話している瞬間に決心できるのは，話し手本人ではない他人にはできません。文の主語が I となるのは意味からの当然の帰結です。"I will …"は話し手の意志を主張する表現です。したがって，状況によっては相手に押しつけがましい失礼な印象を与えてしまう

ことがあります。このため，この押しつけがましさを軽減するために，I will を I think や I don't think といった従属節中に入れています。

意志未来の will の「話している瞬間に決心する」という意味が，I + will のような形を導きます。I will …の持つ「話し手の意志を主張し，押しつけがましい印象を与えることもある」という機能が，I think や I don't think といった従属節中に生じるという，意志未来の will を含む周辺の形，すなわち，文脈を決定します。GiU の解説は，文脈の中で文法事項を捉えることの重要性に基づく，「コミュニケーションのための英文法」に沿ったものと言えます。[29]

さらに，同じ Unit 20 のセクション C には，この will がどのようにして使われるか，という機能についての解説があります。機能の説明は，(32)で見た，セクション A の基本的な意味説明とは別に行っています。

(35)　GiU, Unit 20, Will, セクション C[30]

We often use **will** in these situations:

i. *Offering to do something*
- That bag looks heavy. **I'll help** you with it. (*not* I help)

ii. *Agreeing to do something*
- *A:* Can you give Tim this book?
  B: Sure, **I'll give** it to him when I see him this afternoon.

iii. *Promising to do something*
- Thanks for lending me the money. **I'll pay** you back on Friday.
- **I won't tell** anyone what happened. I promise.

iv. *Asking somebody to do something* **(Will you . . . ?)**
- **Will you** please **be** quiet? I'm trying to concentrate.
- **Will you shut** the door, please?

© Cambridge University Press

ここで質問です。

(36)　質問 7

will は具体的にどのような状況で使われますか？

will は以下の 4 つの状況で使われます。

(37)　解答 7

i.　「…しますよ」と聞き手に自分から申し出る。

ii.　相手の依頼に対して「はい，…しますよ」と承諾する。

iii.　「必ず…します」と約束する。

---

[29] (36)における「話ことばの英語では won't を用いる」という記述も，話しことばを基本とするコミュニケーションにおいては重要な情報となる。

[30] 表中の i, ii, iii, iv の番号は渡辺によるもの。

iv.　Will you … ? の形で相手に依頼する。

GiU では記述されていませんが，(37)の 4 つの状況について，もう少し詳しく考えてみましょう。

(38)　解答 7 の状況を詳しく考える

i.　(35) i. の例文は That bag looks heavy.（持っているカバンが重そう）という状況があることが大切です。この状況を考慮して，I'll help you with it.（お持ちしましょう）と「申し出」ています。重いカバンであることが見て分かる状況であれば，will の文に先行する That bag looks heavy. は言わずに，直接，　I'll help you with it. のように会話を始めることもできます。

ii.　(35) ii. の例文が A と B の会話であることから明白なように，I'll give it to him （彼に渡します）のように「承諾」するためには，Can you give Tim this book? （Tim にこの本を渡してくれますか？）のような「依頼」が先行して行われなくてはなりません。Grammar Express の(15)で見たように，Sure. というのは依頼におけるショートアンサーで，ここでは yes や no を用いて答えることはできません。

iii.　(35) iii. I'll pay you back on Friday. （金曜日に必ず返します）は「約束」のように解説されています。「約束」は自分自身に対する「命令」のことです。したがって，I'll pay you back on Friday. と約束しておきながら，実際にはお金を返さないでいると，約束した人は社会的な信用を失うことになります。[31]

iv.　I will … （私は…します）の場合，意志を決定する人物は話し手ですが，Will you … ? （あなたは…しますか？）のように疑問文にすると意志を決定する人物は聞き手となります。つまり, 疑問文とすることで, 相手を尊重してその意向を尋ねる丁寧な意味を持つことになります。しかし，ii. と同様に，実際には相手が承諾するものとして行う「依頼」なので，依頼された場合，yes や no ではない，適切な答え方が求められます。

GiU は，will に「…しよう」のような単純な意志未来の意味を与えるだけでは説明できない具体的な使い方，すなわち「機能」について明確に解説しています。(38)に登場する，「申し出，承諾，依頼，約束，命令」等のキーワードはいずれも，20 世紀後半から注目されるようになった語用論（pragmatics）と呼ばれる言語研究の成果を背景にしています。

次に，「単純未来」の用法を考察します。GiU 同様，BGiU においても意志未来と単純未来については，それぞれ，Unit 29, Unit28 のように，ユニットを変えて解説が行われています。初級者を対象とする BGiU では，文の形と語順の違いが図で示されます。単純未来をトピックとする Unit 28 には以下のような文型図が配置されています。

(39)　will の平叙文（肯定文および否定文）と疑問文

[31] 「約束」や「命令」のようにことばを発することで行われる動作は「発話行為」もしくは「言語行為」と呼ばれます。

will + *base form* (**will be** / **will win** / **will come**, etc.):

I/we/you/they he/she/it	**will** ('**ll**) **will not** (**won't**)	**be** **win** **eat** **come**, etc.	**will**	I/we/you/they he/she/it	**be?** **win?** **eat?** **come?**, etc.

'**ll** = **will**: I'**ll** (I will) / you'**ll** / she'**ll**, etc.

won't = **will not**: I **won't** (= I will not) / you **won't** / she **won't**, etc.

© Cambridge University Press

この図から，平叙文では「主語 ― will ― 動詞の原形」，疑問文では「will ―主語― 動詞の原形」となることがわかります。また，主語には I/we/you/they/he/she/it のようにさまざまな代名詞が現れます。(32)および(35)の例文に見られたように，I と選択的に結びつくことはありません。

(30)にあるように，Forest では単純未来について「話し手や主語の意志とは関係なく，自然のなりゆきで起こるであろうこと」のように定義し，関連する例文として，My brother will be twenty next year.（兄は来年 20 歳になります）や It will rain tomorrow.（明日は雨になるだろう）が示されています。[32]「20 歳になる」や「雨が降る」という出来事は人の意志と関係なく生じます。

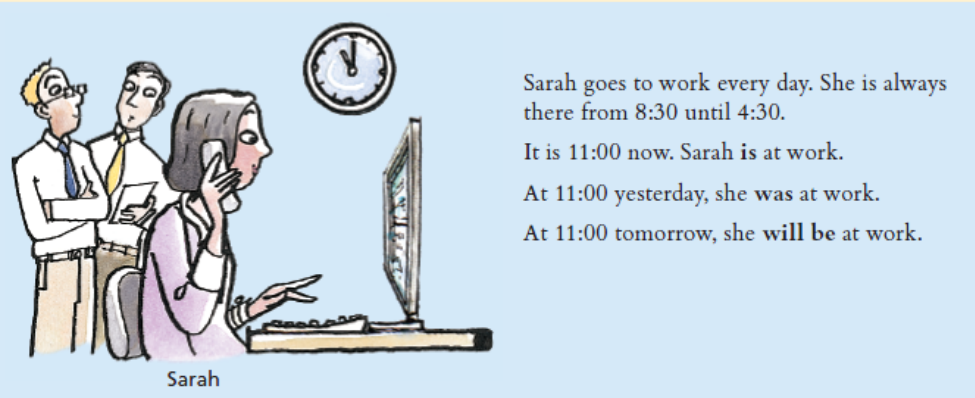
それでは，海外における学習英文法書において，単純未来はどのように扱われているのでしょうか？ここで質問です。

(40)　質問 8

単純未来が使われる状況を理解するため，単純未来を示す状況として掲載されているイラストを比較してみましょう。初級者向けの BGiU と中級者向けの GiU ではどのような状況を表していますか？

(41)　単純未来に関連したイラスト（BGiU―GiU）

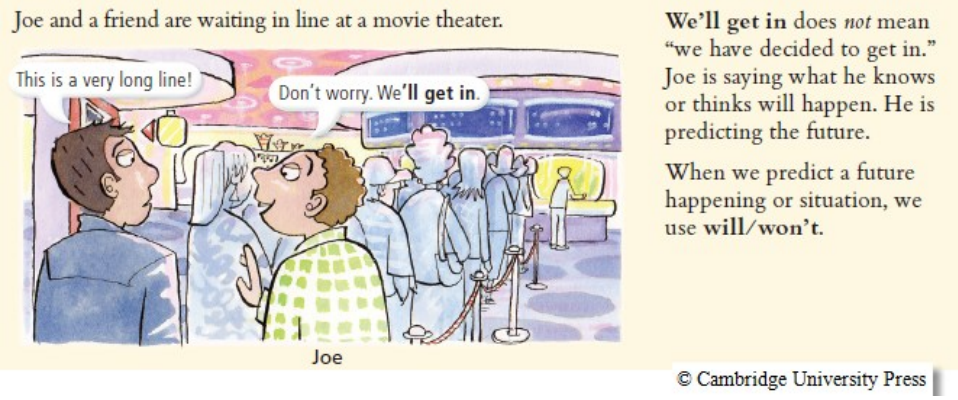
i.　BGiU, Unit 28



© Cambridge University Press

ii.　GiU, Unit 21，セクション A

[32] pp. 70-71



(42)　解答 8

i.　BGiU では「Sarah は毎日 8:30 から 4:30 まで仕事をしている。今，11:00 で仕事をしている。昨日の 11:00 には仕事をしていた。だから，明日の 11:00 には仕事をしているでしょう」といった状況を表しています。

ii.　GiU では This is a very long line!（これは長い行列だね）と心配する友人に Joe が Don't worry. We'll get in.（大丈夫。入れるよ）と答えています。

(42)の i および ii と(30)における Forest の単純未来の定義を比較してみましょう。i の状況は,「Sarah は毎日 8:30 から 4:30 まで仕事をしている」のだから，At 11:00 tomorrow, she will be at work.（明日の 11:00 には仕事をしている）であることは, 誰でも正しいと考えることがらです。一方, ii において, Don't worry. We'll get in.（大丈夫。入れるよ）というのは，Joe の意見であり，実際に友人が入れるかどうか心配しています。i はどのような人が判断しても成立しますが，ii は Joe の判断によって成立します。i であれ，ii であれ，確かに，Forest が指摘しているように,「自然のなりゆきで起こる」ことであり, GiU(41) ii が指摘するように, 前もってすることを決めていたことではありません。しかし, (30)にあるように, 2 つの例文，My brother will be twenty next year.や It will rain tomorrow. は,「誰でも正しいと考える」という点では(42)の i に近く，個人の判断となる ii とは少し趣が異なります。

GiU の Unit 21 セクション B では，この個人の判断に関する単純未来の意味を持つ will とともによく生じる形として次のようなものがまとめられています。

(43)　GiU, Unit 21，セクション B

We often use **will ('ll)** with:

probably	■ **I'll probably** be home late tonight.
I expect	■ **I expect** the test **will** take two hours.
I'm sure	■ Don't worry about the exam. **I'm sure** you'll pass.
I think	■ **Do you think** Sarah **will** like the present we bought her?
I don't think	■ **I don't think** the exam **will** be very difficult.
I guess	■ *A:* What are you doing after dinner? *B:* I don't know. **I guess I'll** read the paper.
I suppose	■ When **do you suppose** Jan and Mark **will** get married?
I doubt	■ **I doubt** you'll need a heavy coat in Las Vegas. It's usually warm there.
I wonder	■ I worry about those people who lost their jobs. **I wonder** what **will** happen to them.

After **I hope**, we generally use the present:
- **I hope** Kate **passes** the exam.
- **I hope** it **doesn't rain** tomorrow.

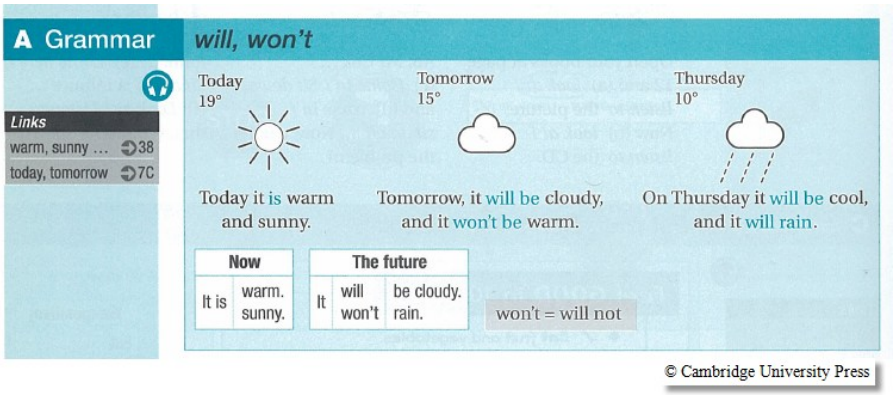
© Cambridge University Press

従属節を持たない probably の例文を除いて，(43)中の例文はすべて主節―従属節の形を取っています。また，主節の主語は I となっています。I expect / I'm sure / I think / I don't think，等の主節に続けて，will を含む従属節が生じています。「自然のなりゆきで起こる」と考えているのが話し手個人であり，誰が考えても正しいことがらではなくなります。「誰でも正しいと考える」文は，個人による反論が簡単には許されない強い主張となります。そこで，(43)のように，will を含む主張を，probably によって修飾したり，従属節に置いたりすることで，その主張の強さを弱めているのです。単純未来に関する(43)の例文では，意志未来に関する(32)の例文と同様に，コロケーションが明確に示されています。

Cambridge University Press より刊行されている，英語の文法と語彙の自習書である，Language Links のシリーズにおいても，その初級編（*Language Links*[33]）とその中級編（*Language Links Pre-intermediate*[34]）の間で，同様な対比を見ることができます。

(44)　単純未来に関連したイラスト（Language Links―Language Links Pre-intermediate）

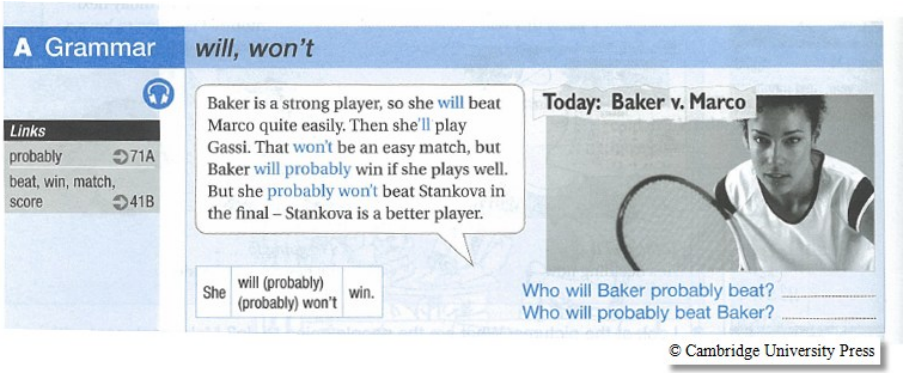
i.　Language Links, Unit 73



[33] 2005 年，Adrian Doff および Christopher Jones 著，Cambridge University Press 刊。以下，Language Links として言及。

[34] 2007 年，Adrian Doff および Christopher Jones 著，Cambridge University Press 刊。以下，Language Links Pre-intermediate として言及。

ii.　Language Links Pre-intermediate, Unit 78

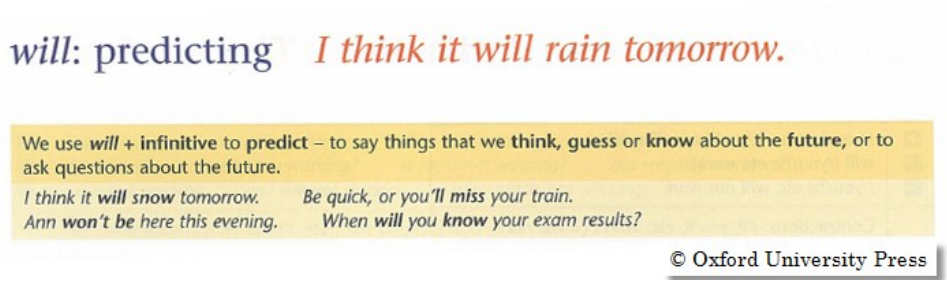


i の初級編では，Forest の例文を具体化するような，天気に関するイラストが与えられています。一方，ii の中級編ではテニスの試合の勝敗に関する予測が示されています。i は天気予報で，「誰でも正しいと考える」科学的な根拠に基づく予測ですが，ii は個人的な意見です。個人的な意見であることは，例文中には probably（おそらく）のように，話し手が判断に十分な自信を持っていないことを表す副詞が 2 回現れていることからもわかります。

同じように will を用いる文であっても，一方では(41)i, (44)i のように誰でも正しいと思える一般的な記述であり，他方では(41)ii, (44)ii のように個人的な意見となります。では，単純未来の will の持つこのようなあいまいさはどこから生じるのでしょうか。

(41) ii では単純未来について，When we predict a future happening or situation, we use will/won't.（未来の出来事や状況について予測する際に，will/won't を用います）のように解説されています。この predict（予測する）について，GiU, BGiU と同様な学習英文法書である *The Good Grammar Book*[35] では以下のように解説されています。

(45)　The Good Grammar Book, p. 36



The Good Grammar Book では，will が持つ predict について，「未来について think（思う），guess（推測する），know（知る）ことを say（ことばにする）」であると記述しています。ここから，will は think, guess, know のような動詞で置き換えられるような精神活動であることが分かります。

Meaning and English Verb[36] は think, guess, know といった動詞は，いずれも普通，進行形にな

[35] 2001 年，Michael Swan および Catherine Walter 著，Oxford University Press 刊。イギリス英語の学習英文法書。中級者対象。以下，The Good Grammar Book として言及。

[36] 2006 年，Geoffrey Leech 著，Longman ESL 刊，第 3 版。英語の動詞，助動詞の用法を解説した

ない「不活発な認識動詞」（verbs of inert cognition）として分類し，この種類に属する動詞は，動作を行う際に主体的な活動や意識が乏しい「精神的な状態」（mental state）を表す，としています。[37]したがって，不活発な認識動詞は「思う，考える」というよりは「よくよく考えてみれば頭の中にある，何となくそのような気がする」のような消極的な意味を持つものと考えられます。

will は，「…だろう」のように訳出されるのが普通です。これは，個人が前もって計画したり，決心していたりしたことがらとは関係なく「自然のなりゆきで起こる」という単純未来を表すことを考慮すれば当然のことです。その反面，think, guess, know に置き換えられる，「…であると思う」とか，「何となくそのような気がする」のような消極的で個人的な精神活動であることも忘れてはなりません。

will の意味を正確に記述すれば「自然の成り行きで起こると思う」のようになります。ここで，「思う」の持つ個人的な精神活動の意味合いを極力小さくすると，(41)i, (44)i の例文のように，誰もが正しいと考える文となり，この意味合いを大きくすると，(41)ii, (44)ii のように個人的な意見となります。単純未来の will を使う際には，(41)i, (44)i と，(41)ii, (44)ii との 2 通りのイメージを持たなければなりません。この相反するように捉えられる意味は，いずれも，think, guess, know といった動詞の持つ，精神活動の意味合いの程度の違いからもたらされています。

文法はメタ言語を用いて解説するのが一般的です。しかし，(41)や(44)に示されているようなイメージがあれば，学習者はより直感的に，ことばが実際に使われる文脈が理解できるようになります。文脈の理解を促進させるようなイメージをどう提示するかもコミュニケーションのための英文法では重要な項目となります。

6. まとめ

本稿では，コミュニケーションのための英文法を「文脈をより重視して文法事項を解説しようとする学習英文法」のように定義しました。まとめとして，もう 1 つ，文脈を重視した文法記述の例を考えます。

前節とも関連しますが, Forest では will と be going to の違いについて以下のように解説しています。

(46)　will と be going to の違い[38]

文法書。

[37] p. 26

[38] pp. 71-72

3 will と be going to の違い

比べてみよう

(1) "The telephone is ringing." "OK, I'll answer it."
(「電話が鳴っているよ。」「いいわよ，私が出るから。」)
(2) "What are your plans for tonight?" "I'm going to meet a friend for dinner."
(「今夜の予定は？」「友だちと会って食事をします。」)

will
その場でする気になったこと

be going to
するつもりでいたこと

(1)では，「電話が鳴っているよ」と言われて，「じゃあ，私が出よう」という気になったことが will で示されている。**will を使えば，その場で（急に）する気になったことを表せる。**

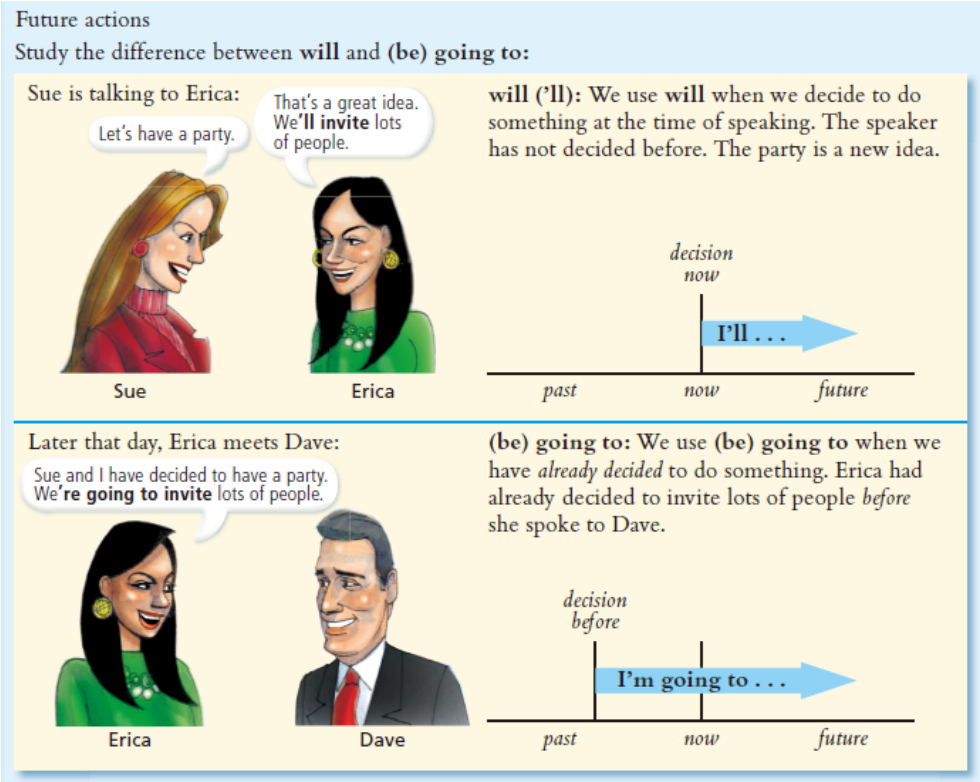
一方，(2) では，「今夜の予定」を話題にしているから，その場で突然決めたことではなく，**それ以前からするつもりでいたことを be going to で表現する。**

このように，一口に「未来の表現」と言っても，will と be going to のあいだで使い分けが生じる場合がある。

© 桐原書店

一方，この両者の違いは GiU では次のように解説されています。

(47)　GiU, Unit 22, will と be going to



(47)に関連して，ここで質問です。

(48)　質問 9

会話の流れに伴い will と be going to はどのように変化しますか？

(49)　解答 9

(47)では，最初 Sue と Erica の間で，次に Erica と Dave の間で会話が行われます。最初の会話における Erica の We'll invite lots of people. という発言で will が用いられるのは，Erica がパーティに多くの友人を招待することを Sue との会話時に決めたからです。その後，Erica は Dave と会いますが，友人の招待については，すでに決心していたことですから，Dave との会話時に決めたことではありません。あらかじめ決心していたことについて「…するつもり」のように意志を述べる場合には，be going to が用いられます。will と be going to の違いは，会話の流れに応じて変化します。この例における be going to の使用は，先行して will を使用していたことが前提となっています。

(46)の Forest の解説においても，will については,「その場で（急に）する気になったこと」，be going to については「それ以前からするつもりでいたこと」のように, GiU と同様の解説が与えられています。しかし，will の例文と be going to の例文とは，GiU のように連続する一つの文脈を構成することはありません。GiU は単純に連続する複数の文ではなく，時間的，空間的に異なる複数の場面を設定しています。しかも，その場面は話しことばに依存しています。これは「文脈」と言うよりは「談話」と呼ぶべきものです。文脈を重視するのがコミュニケーションのための英文法ですが，GiU の談話に依存した説明は，よりコミュニケーション性を高めたものです。

これまで，本稿で解説した文法事項について，文脈を重視することで得られた，学習英文法上の特徴についてまとめると以下のようになります。

(50)　文法項目と学習英文法の特徴

文法項目	学習英文法上の特徴
(11)(12) 仮定を行う助動詞表現	母国語話者の発話の実証的な検証に基づく言語形式の選定
(15)(18) 要求を行う助動詞表現	言語機能を重視した文法解説
(19)(20) 付加疑問	対話が行われる文脈に生じる音調と結びついた機能の理解
(24)(27) 聞き返し疑問	話しことばの分析
(32)(35) 意志未来	コロケーションの分析
(39)(41)(43)(44)(45) 単純未来	文脈のイメージ化
(47) will と be going to の違い	談話を用いた文法解説

(50)の特徴は，いずれも現在の国内における学習英文法指導に不足しています。高等学校において英語を英語で指導する学習指導要領の導入を間近に控え，この点の迅速な改善こそ，学習者のコミュニケーション活動の活性化をもたらす契機となることでしょう。

参考文献

Carter, R., & McCarthy, M. (2006). *Cambridge Grammar of English.* Cambridge: Cambridge

University Press.

Doff, A., & Jones, C. (2005). *Language Links.* Cambridge: Cambridge University Press.

Doff, A., & Jones, C. (2007). *Language Links Pre-intermediate.* Cambridge: Cambridge University Press.

Fuchs, M., & Bonner, M. (2001). *Grammar Express-Intermediate: For Self-Study and Classroom Use.* New York: Peason Longman.

Leech, G. (2004). *Meaning and the English Verb (3rd Edition).* Harlow: Longman ESL.

Murphy, R. (2007). *Essential Grammar in Use.* Cambridge: Cambridge University Press.

Murphy, R., & Smalzer, W. R. (2009). *Grammar in Use Intermediate.* New York: Cambridge University Press.

Murphy, R., & Smalzer, W. R. (2010). *Basic Grammar in Use.* New York: Cambridge University Press.

Swan, M., & Walter, C. (2001). *The Good Grammar Book.* Oxford: Oxford University Press.

石黒博昭. (2009). 総合英語 Forest 6th edtion. 東京: 桐原書店.

大久保洋子. (2003). 児童英語キーワードハンドブック. 東京: ピアソン・エデュケーション.

和泉伸一. (2009). 「フォーカス・オン・フォーム」を取り入れた新しい英語教育. 東京: 大修館書店.